

1815
2011・7/10

大阪教育

昭和29年2月16日第三種郵便物認可/毎月10日発行/1部30円(組合員は組合費を含む)/発行・大阪教職員組合・〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町7-11・大阪府教育会館7F/TEL 6768-2330/FAX 6768-2239/daikyoso@daikyoso.jp 編集発行人・田中康寛/印刷・関西共同印刷所

大教組ホームページへアクセスを
<http://www.daikyoso.net/>

府民共同
的で

たたかい広がる

教育への介入はゆるぎない



6月1日 府民集会に先立って宣伝



職場の声満載の分会ニュース



ひと言メッセージを添えて

橋下知事を代表とする「大阪維新の会」は、府内の公立学校での「国歌斉唱」の際、教職員にたいして「起立・斉唱」を強制する条例案を提出し、6月3日府議会で可決強行しました。数に任せての暴挙に、全国からも抗議のこえが上がり、「大阪の教育守れ」と短期間に運動は大きく広がりました。職場、単組でも機敏にたたかいました。「処分条例」阻止にむけ、さらに運動を強めましょう。

「君が代」逆立条例案が浮上してからは府議会の状況に合わせて、新聞記事や職場の声を載せ、頻りに発行しました。府議会教育常任委員会で強行可決された6月2日の夕方、分会独自で駅頭宣伝も行いました。何人もがマイクを持って、自分のおもいを語り、熱い街宣となりました。可決強行後もニュース紙面で意見交流が続いています。

今日やらなくていつやるの? 守口教組は、6月3日条例が可決されようという時、急遽、宣伝することになりました。横断幕はマジックで手書きです。マイクを握るのは退職教職員のAさん。私たちがの批判の声もありました。熱心に話を聞いてくれました。



女性部手づくりのタペストリー

という青年に励まされ、やってスカッとすの宣伝! 「三人集まったらできる」をモットーに府民宣伝を続けました。

20年以上、毎月平和街宣 豊中教組は6・9行動の位置づけで毎月取り組み、もう20年以上続いています。今年の4月から「ひと言メッセージ」を添えたティッシュと一緒、ピラを配っています。受け取りは断然いす。30分約300枚を配布できます。6月9日は強行された「君が代逆立強行条例」について訴えました。

府労組連は、今季の夏季闘争を震災復興支援と結んで、府民要求の実現、賃金・労働条件改善、府民の安全・安心、くらし優先の府政実現をめざし、全力でとりくみました。最終回答は切実な要求に応えず、極めて不十分ですが、職員の健康管理について安全衛生協議会に部会を設け検討など、今後の要求実現の足がかりとなる回答を確認しました。

いのちとくらし大切にする府政を!

「明るい」と共同して行おうと呼びかけられた8ブロック府民宣言が、6月3日を中心に行われました。寝屋川駅で40人、松原駅で25人、金剛駅で20人と府下各地で元気よく行われました。「君が代」起立・斉唱条例が府議会で強行という緊迫した状況のもと、橋下府政の府民犠牲の強権政治、政治による教育介入の不当性など各地で訴えられました。「ヒトラーみたいでこわい」「橋下さんやり過ぎ」「愛国心は必要と思うけど、条例で強制するものじゃない」など、私たちが配るピラをその場で読み、対話が弾みました。



- 今季闘争の主な到達・確認点
- 夏季一時金 期末手当1,225月、勤勉手当(標準)0.66月を条例にもとづき、6月30日に支給。
*今年度より4%カットなし
 - 非常勤職員 非常勤職員の育児休業取得等に関する改正(6月13日)
 - 労働安全衛生 職員の健康管理について定期健康診断結果の活用、産業医と所属長(校長)との更なる連携について安全衛生協議会の部会を設け検討
 - 病気休暇 不妊症の病気休暇適用については、病気休暇の要件を満たせば取得可能
 - 任用制度 副主査制度見直しにかかる研修・資格等は7月末に向けて協議
 - 定数内講師問題 「教育は正規職員が担うことが基本」(定数内講師の削減、新規採用教員の確保)(2012年度新規採用教員は全校種において2300名を予定)
 - 早出遅出 介護にかかる早出遅出勤務については、府労組連と協議の上、9月実施をめざす

過密・長時間勤務を解消せよ 強権政治はやめよ

府労組連 夏季闘争

「このままだと学級崩壊する。休職が退職しようか」とこんなメールや電話が飛び込んでくる日々。一緒に悩んでいる▼先週のことだ。「ボスが休んでいた。毎日喧嘩。久しぶりに教室が静か。しかし、このボスをどうするか苦しい」「その子が一番苦しんでいる。暴れないでは自分が保てないのだ」と返信▼その翌日「休んでたボスが来た。ズル休みや」と友達。「やっと家族が揃って、昨日は、嬉しい日だったんだ。そんなこと言うたらあかん」今日一日機嫌よく、穏やかな表情。習字の時、横について筆遣いを教えてやると、放課後漢字の丸つけをしていたら、ピタッと横にくっついてきた。初めてだ」というメール。読みながら泣けてきた。良かったなあ。▼子どもも親が問われている。子どもの心の声が聞こえてくると、その子が愛おしくなってくる。やっぱり教師の元気は、ここから出ている。一番苦しい時に、教師は一番子どもから学ばせてもらっている。しかし、その日々は、生易しくはない▼「教育は2方強制だ」と豪語する橋下知事!日本の教育は、こんな教師たちで支えられているのだ。(M)